

報告書

2022 年 10 月 7 日

所属	山スクール トレッキング 2	氏名	YT
----	----------------	----	----

(1) 概要

日時	2022/10/2	場所	大岩岳
テーマ	読図		
講師	氷見講師、古谷講師、谷池講師		
目的	地形を理解する		

(2) 報告事項

講習内容 & 所感

事前に頂いた地図のルートをもとに、メンバーが交代で、ポイントまで先導した。わかりやすいポイントもあったが、難しいポイントも多く、ポイントを見定めるのに苦労した。尾根ではなく、主に谷を頼りに現在地を特定することも再確認した。地図上の谷の角度と、実際のルートの谷の角度を確認することで、現在地を決定するための手掛かりになることも教わった。講師の方がおっしゃっていたように、谷の角度を感覚をつかめるように経験を積み重ねていきたい。(先は長いですが。。。) 草が生い茂っていて景色や見えにくい場合や、踏み跡がわかりにくい場合は、しゃがんで姿勢を低くすると、地形が見えたり、ルートが明瞭な場合もある。実際、草が生い茂っていて左右の地形がわかりにくい場所があったが、しゃがんでみるとピークらしきものが見えたり、そこだけ草が生い茂っていない場所があり、ルートを見つけることができた。三角点は見晴らしのいいところに設置されている場合が多いとのことで、それも踏まえて三角点を探した。一等三角点: 一辺が18cm、二等三角点: 一辺が15cm、三等三角点: 一辺が15cm、四等三角点: 一辺が12cmであることがのちの調べでわかった。また、何等かを示す刻印は南側に書かれていることも学んだ。地図上では登山道と記載されていないが、県境は調査やメンテナンス等の為、人が出入りしているの、登山道のようになっていることも初めて知り、実技を通して確認できた。

全体を振り返って

とくかく、くたくたの一日だった。特に終盤は集中力にかけてしまった。事前に地図読みをしたつもりで実技に臨んだが、現在地を特定するのがとても難しく、何度も現在地を間違えた。地図上、登山道となっているところなど、よけいな情報に頼ってしまったり、距離的な感覚で現在地を決めてしまったり、地図をきちんと見れていないと今回も反省した。日頃から、ぼけっと歩くのではなく、地形を見る意識をもっと強く持とうと思った。地図読みで頭が疲れていたうえに、藪漕ぎも想像以上に激しくて、知らないうちにすり傷やあざができていたが、貴重な経験になったと思う。成長があまりなく、不甲斐ないですが、めげずに地図読みが出来るようにがんばろうと思う。